

④ ハイリスク薬に関する事例

メトトレキサート製剤に関連した疑義照会の事例

ヒヤリ・ハット事例のうちメトトレキサート製剤に関連した疑義照会の事例が4件報告されています（集計期間：2015年1月1日～12月31日）。

変更内容	処方された内容	疑義照会の契機となった情報	変更後の処方内容
用量変更	リウマトレックスカプセル 2mg 3カプセル分 28日分朝夕食後服用（朝2－タ1）と記載されていた。	リウマトレックスカプセル 2mg は休薬期間が設けられている医薬品であり、他剤は28日処方であった。	リウマトレックスカプセル 2mg 3カプセル分 24日分朝夕食後服用（朝2－タ1）【週1回土曜日】に変更となった。
分量変更	「リウマトレックスカプセル 2mg 6カプセル1日1回朝食後 金曜日、土曜日の服用 6日分」の処方があった。	前回までは、リウマトレックスカプセル 2mg を金曜日に3カプセル、土曜日に2カプセル服用している患者であった。	処方医の意図が土曜日の増量であることがわかり、リウマトレックスカプセル 2mg 3カプセル1日1回朝食後 金曜日、土曜日に分量変更となった。
薬剤変更	リウマトレックス、フォリアミンが新規処方された。	患者に肝炎治療経験の有無を確認したところB型肝炎の既往歴あり。医師には伝えていないとの申し出があった。	アザルフィジン EN錠 500mgに変更になった。
用法変更	処方内容はリウマトレックスカプセル 2mg 3カプセル分 24日分 週1回木曜日朝食後2カプセル夕食後1カプセル服用、フォリアミン錠 5mg 1錠分 14日分 週1回金曜日朝食後服用と記載あり。	関節リウマチ治療におけるメトトレキサート診療ガイドラインでは「葉酸製剤は 5mg／週以内をメトトレキサート最終投与後24～48時間後に投与する」とされており、金曜日の夕食後以降に服用するのが妥当と考えた。	フォリアミン錠 5mg は週1回土曜日朝食後服用に変更となった。

※ 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業平成27年年報 185頁 図表4－20を改変



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル 電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>